

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	商学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.3 教育方法
小項目	6.3.1 教育方法および学習指導は適切か。
要素	教育目標の達成に向けた授業形態（講義・演習・実験等）の採用 履修科目登録の上限設定、学習指導の充実 学生の主体的参加を促す授業方法 研究指導計画に基づく研究指導・学位論文作成指導（院） 実務的能力の向上を目指した教育方法と学習指導（専院）
小項目	6.3.2 シラバスに基づいて授業が展開されているか。
要素	シラバスの作成と内容の充実 授業内容・方法とシラバスとの整合性
小項目	6.3.3 成績評価と単位認定は適切に行われているか。
要素	厳格な成績評価（評価方法・評価基準の明示） 単位制度の趣旨に基づく単位認定の適切性 既修得単位認定の適切性
小項目	6.3.4 教育成果について定期的な検証を行い、その結果を教育課程や教育内容・方法の改善に結びつけているか。
要素	授業の内容および方法の改善を図るための組織的研修・研究の実施

○2009年度からの目標

1. 各専門分野の履修体系、より具体的には何が学べ、何ができるようになるかを入学時に明示する。
2. 他大学院、他研究科との単位互換制度を踏まえて、多様な履修、研究の機会があることを在学生に対して周知する。
3. 履修登録前に授業内容をより詳細に周知する。

○指標

1. 各専門分野からのヒアリングとその成果を入学時オリエンテーションでの反映。
2. 他大学院、他研究科での履修者数の増加。
3. 履修登録に際しての指導教員との事前（各学期開始前）面談、およびシラバスの標準化。